



SSKP つくしんぼの 会報誌 つくつく通信 No.74

「つくしんぼ」はハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

編集～「フリースペースつくしんぼ」東京都町田市小川 1511 TEL/FAX 042(796)8468

とくにあえず、NPO法人を目指します

4月になり、新しいメンバーも参加して今年度がスタートしたと思ったばかりなのに、もう夏休みがすぐそこ……。年々時間の経つのが早くなるような気がしてなりません。

前号の通信に「学童保育の障がい児の受け入れ環境がよくなり、つくしんぼの存在意義は？」なんて書いたところ、そろそろ活動をやめるの?なんて言われてしまいました。

大丈夫です。やめる気は当分ありません。つくしんぼは、就労保障として単に預かるだけではなく、あくまで放課後保障の場として日々子どもたちの生活を見つめ、ハンディをもつ一人一人にとって何が楽しいかを考えつつ活動をしていますので。

スタッフ側のメンバーが足りれば、みんなでの外出活動することも可能ですし、専門の先生による音楽や造形も取り入れていますし、一般学童ではなかなか出来ない経験がいろいろ出来るつくしんぼなのです。

ただ……今の活動は行政からの補助金があつてのものです。

今、福祉の業界は国会で成立しかかっている障害者自立支援法案の行方に揺れ

ています。この法律、主に応益負担の問題を中心に論議されていますが、それとは別にも大きな問題をはらんでいます。それは、福祉施設体系の大改革……。

つくしんぼは東京都の単独事業としての補助金を受けているのですが、もし国が新施設体系に移行した際に、東京都がその基準を取り入れてしまったら、大幅な補助金減額の可能性があります。しかも、補助金対象となるのはNPO以上の施設。つくしんぼは現在、無認可状態なので、減額どころか補助金は全額失ってしまう恐れすらあるわけです。

7月5日、日比谷で障害者自立支援法に関する大規模な集会があり、つくしんぼも通常活動を親子活動に変更して貰い、職員三人で参加して来ました。



当日は、気温30度を超える中、北は北海道から南は沖縄まで、予想をはるかに上回る1万1千人もの参加があったとのこと。デモの列は日比谷公園から国会議事堂まで数時間に渡り延々と続き、ハンディをもつ当事者のみなさんとそれを支援する人たちの熱気と真剣さに漲っていました。

このようなデモへの参加ははじめて

だったのですが、私たちもあらためて高い意識を持たねばならないことを痛感して帰ってきました。

◆ ◆ ◆
つくしんぼもとりあえずNPO法人取得への動きを開始することになりました。それで何がどう変わるのかわかりませんが、立ち止まってはられないようです。応援よろしくをお願いします。



10年…ひと昔前ですね。幼稚園の先生に「○△□を書けるようになったら、お手紙書きます」と約束しましたが…もう中学2年。自分の名前も言えませんが、伝えたいことは、不思議とわかってもらえる技を持ち、すっかりたくましくなりました。すみません。約束の手紙、気長〜に待って下さいね。

つくしんぼがスタートした頃は、まだ一人で歩くのが危なっかしくて、いつも後ろにまわり、両手をつないで、すっぽり収まるサイズでした。今では、つくしんぼの庭で台車をガラガラ押し、方向転換も上手に自由にバタバタ走りまわっています。部屋の中では、野菜や果物のオモチャがっぱ

い入っているケースをカーテンの中から引きずりおろし、部屋じゅうにポイポイと散らかして遊ぶのが大好きです。

順番を待てずに、がむしゃらに叩く太鼓が、いつの間にかカッコいいセッションとなる音楽。いたずらにちぎった牛乳パックが素敵な和紙の作品に変身する造形。おはなし会のあった晩はお人形相手に本を逆さに持ってすました顔で読み聞かせ。お料理、おやつにお帰りの会。楽しすぎて、いつも帰りのステップワゴンにはご機嫌で乗るのに、角を曲がると家に到着という所まで来ると、もっと遊びたかったと泣いています。

知佳の不思議な力。伝えたいことをわかってもらえる技を習得できたのも、娘の行動を「成長したね、上手になったね」と一緒に喜び、暖かく育てて下さる、私以上に親馬鹿な素晴らしい出会いのおかげだと感謝しています。



10周年おめでとうございます。

つくしんぼ開設3年目の7年前から、2年半職員をさせていただきました菊田博と申します。

今回10周年にあたり、山下施設長よりつくつく通信への寄稿依頼を受けたわけですが、思えば私の文章がこのつくつく通信に載るのはこれで3回目になります。

1回目は新職員の職員挨拶として、2回目は私がつくしんぼを卒業する時でした。

正確に言えば4回かな。1回だけ山下さんに表の記事を書けと言われて書いた記憶があります。でもそれは、「全然読み手の立場になってない」とか「構成がバラバラだ」とかボロクソに言われてボツになった幻の記事であり(^_^) 山下さんがだいぶ手直しをして、晴れて通信の表を飾ることになったというものでした。

★ ★ ★

ここでちょっとブレイク。

ホームページ上で公開されているつくつく通信のバックナンバーを開いてみました。(22号・46号・幻の記事は44号)

7年前を思い返しながら・・・私の書いた1回目、2回目の文章。ボツになって山下さんに編集された幻の記事などを読みました。思い出すたくさんの楽しかったこと。

でも何よりも自分で自分の書いたものを読むというのは、タイムカプセルに込められた自分へのメッセージを読むような感じ

がしました。

つくしんぼを卒業した私は、民間企業に就職しました。一昨年の夏から北海道の営業所勤めとなり、今札幌市在住です。年齢も32歳となり結婚もしました。



そしてめでたく、つい先日6月28日にわが子が誕生しました。

つくしんぼにいた頃、全然浮いた話の無い私を心配したつくしんぼのお母さんたちに、あと10年したら〇〇〇をあげる(つくしんぼの子供たちのこと)と、からかわれていたのが懐かしいですね。

ふと、これから始まる子育てに、1日の大半を会社で過ごす身となった今、多少の不安を感じます。

めんどくさがりやの私が、会社から帰ってきてから、まともな子育てができるだろうか?と。

でも私のつくしんぼでの経験が少なからず、私自身を後押ししてくれそうです。

「子供たちが笑う顔を見るのが嬉しくて嬉しくて・・・」通信に寄せた私の文章。今こうして読み返すとなんかちょっと照れくさい気がしますが、あの頃の私が気持ちを素直に書いた文章です。これからも大切にしたい気持ちです。

貴重な経験をさせてくださいましたつくしんぼに感謝しています。

町田の小川の地に根付いたつくしんぼに、子供達の笑い声が絶えることなく、つくしんぼが更なる発展を遂げることを願っています。





つくつく通信の裏表紙

近くに牛舎があるせいかどうかはわかりませんが、つくしんぼにはハエが多いのです。建物がボロく、隙間だらけなので外からの侵入をまったくシャットアウトすることが出来ません。

で、苦し紛れにこんなものを買ってきてしまいました。



ジャーン!! 食虫植物のハエ取り草です。

こいつがいれば百人力。飛んでるハエを次から次へと捕まえて食ってくれるので、快適快適……な～んてのはウソ。ハエ叩きでハエをパシとやって、それを与えて触手のある葉(?)がパクツと閉まるのを見て楽しんでいる程度。これが結構楽しかったりするのです。その他にもハエ取り紙やら蚊とり線香やらが活躍中のつくしんぼです。(^^)

「ボランティア」寄付ありがとうございました

高尾様、会田様、長谷様、平井様、横溝様、谷沢様、中村様、山本様、萩村様、金森様、矢田様、佐藤様、平田様、竹田様、松見様、宮島様、山形様、清水様、外谷場様、角井様、斉藤様、井上様、南様、小川様、竹内様、川上様、岩崎様、石川様、依田様、荒木様、井川様、奥山様、西京様、松山様、大久保様、坂井様、郡様、吉本様、堀内様、福井様、小野様、亀屋様、志岐様、大石様、庄司様、長谷川様、佐治様、杉崎様、谷川様、浅野様、野村様、鈴木様、成田様、坂本建築工業様、くらしの工房楽・渡部様

福井様、飯塚様、高尾様、林様、三箇山様、越村様、谷保様、犬飼様、榎本様、大河内様、郡様、川崎様、大澤様、後藤様、高井様、森井様、渡辺様、福田様、泉山様、橋本様、松田様、小池様、田中様、近藤様、鈴木様、田所様、杉山様、法政大学びゅあびゅあ様

(5月、6月)



つくしんぼをささえる会 ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子どもたちの放課後活動施設です。

1996年に開所。1998年度からは東京都と町田市から通所デイグループ事業としての補助金を受けてはいるものの、運営面で苦しいのが現状です。

よろしかったら「ささえる会」の会員になってください。年会費2000円(一口)をお願いしております。

会員の皆様には、この会報誌「つくつく通信」を送付させていただきます。よろしく願いできましたら幸いです。

郵便振替口座番号
00120-7-168283
加入者口座名称
フリースペースつくしんぼ

